

事前ヒアリング結果の報告

| 分類 | 主なご意見（順不同） |
|----------------|---|
| 大川の駅整備について | <ul style="list-style-type: none"> 維持管理・運営を誰がするのかの想定があるのか。 どういう状況なのかよく分からない。これから検討を進めるとのことだが、結局声の大きい人の意見に左右されるのではないか。 以前から考えてはいるが実現出来ていないことを、大川の駅で叶えられると良い。 |
| ターゲットについて | <ul style="list-style-type: none"> ターゲットの設定が必要。 まずは近くの人達が大川の駅に行くことが最も重要。近くの人があれば外の人もある。 地元の人がいつでも行けることに加えて、外部から引っ張ってくるのが必須と考えている。 有明海沿岸道路からの立ち寄りはない。目的型の施設を目指すべき。 周辺に子どもを遊ばせられる大きな公園がないので、子どもが遊べる場所だと子育て世代は喜ぶと思う。 |
| 運営について | <ul style="list-style-type: none"> 運営は市が行うのか。アイデアは民間からも出すが、形は市長が決めていくべき。どういう町になっていくか欲しいという思いのもとに、どんな大川の駅が求められているのか考える必要がある。 大任町になったら、運営のプロを呼ぶのはどうか。（大任町では、スーパー運営者などの販売のプロを導入している） 運営については、今から並行して準備を進めていくべき。 次代を担う地域の若者世代（30～40代）で新しい取り組みに頑張っている人もいるようなので、そういう人たちが積極的に発言し、伸び伸びと活動できるような体制や仕組みをつくっていくべき。 |
| 広域連携について | <ul style="list-style-type: none"> 大川市には農水産物がそんなにないため、大川市だけで直売所を埋めることは不可能。有明海沿岸や筑後川流域をテーマとするなど少し広域の地元のものを取り扱うのが良い。広域のセレクトショップなど。 有明海周辺のもの全てそろえているところは、今のところない。広域をテーマとしてやると魅力が出る。有明全体だと全て揃う。しかし、有明をテーマとしたとしても、建物などはあくまで大川の木材・建具を活かすべきと考えている。 有明海というカテゴリの中に、佐賀、大川、柳川、大牟田、熊本などの地域があることをぜひ知ってほしい。マップ等とあわせて商品を作りたい。 |
| 市内・大野島との連携について | <ul style="list-style-type: none"> 大川の駅に観光客がくるだけでなく、大川の駅を拠点に、市内に観光客を引っ張り込むのが望ましい。 榎津、若津、港など旧市街地で古い町並みがあるなど、市内も良い。歩いても楽しい。自転車でまわっても良い。 ロケーションを活かしながら、大野島一体を活用すべき。 大野島内の運動公園などと連携し、グラウンド等も機能強化したい。ランニングやウォーキングなどの機能を入れるなら、大川の駅にシャワー等があると助かる。レンタサイクルで大野島を周遊できても面白い。 大野島にドミトリーやゲストハウス等の宿場町を作りたい。10年後に空き家がさらに増えていることを想定して、貸す、売ることができるが良い。 |

| | |
|--------------------|---|
| 食について | <p>【農水産物の売り出し方について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅には食べ物が必要。しっかり食べられるレストランや、ちょっとしたテイクアウトの出店のからあげ、お土産などを揃えていくことが必要。 WS（のりすき・のりつみ体験、漁の様子動画紹介）、大川の駅を船の発着地とした海苔の漁場ツアーなどで体験できると良い。 市内のお土産がない。大川活性化協議会を中心に開発を検討している。苺が有名なので活かすなどで開発できるのではと思っている。フリーズドライやグラノーラなども良い。 全国ブランドといえば、有明の海苔。加工商品開発すれば人気でそう。 <p>【飲食店（カフェ・レストラン）について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大川家具を使ったテーブルや椅子など使ってくつろげるとともに、設えや食器などにも大川市の木工の技術を活かす。カフェで実際に使って気に入った家具や木工製品を買える仕組みなどだと、大川家具を展示や販売だけにとどまらずアピールできる。 カフェも用途として商談スペースや異業種交流などでも使えると用途が広がって良い。建具も有名なので、空間も区切れる。貸しオフィスとかもいいのでは。 |
| 木工（木材、建具、家具など）について | <p>【思い出の家具の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中古の建具とかでも十分大川の魅力や歴史を感じることができるので、もう使わない古い家具などを集めて、昔の家具博物館などはできないか。家具はメンテナンスができるので、綺麗に直して販売する前提で展示だけでなく、実際に使える博物館にするのが良い。 ピアノとか、昔の触れられるものを置いて楽しむ。 <p>【体験プログラムについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 端材のWSが実施できる。建具と家具では、出る端材が異なるので面白い。 社会科見学などによる未来の担い手啓発、工業高校などデザイン系の学生を対象にしたインテリアの学校をつくりましょうという話も以前からある。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家具を体験できる考え方は重要。 置く什器をコンベで選ぶのも面白い。 置く什器に出資してもらった方の名前のプレートをつけるなどして出資を募るなど。 新しい箱ものの研究を大川の駅でできないか。大川家具を実際に使用してもらって、現代のニーズに合った箱ものを研究できると良い。 |
| 水辺の活用について | <ul style="list-style-type: none"> 干いたときの風景と満潮のときの風景の違いを活かす。潮の干満の差は月の引力。 船着き場があると良いが、干満差がある常時使用できなくともあるだけで雰囲気ができる。 大川市はクリークが非常に多く、綺麗に整備・清掃して活用できないか。 |
| 防災について | <ul style="list-style-type: none"> 大野島に建設する以上、防災機能を担うことは必要。防災拠点の機能は必須。 コストコや倉庫型の商業施設を誘致して災害時に備えた備蓄倉庫に。 |
| 眺望について | <ul style="list-style-type: none"> 景色、ロケーション、筑後川、昇開橋を活かすべき。インスタ映えするようなロケーションに作れるかどうか最も重要。 川だけでなく、雲仙、背振山の山並みが一望できるのも魅力。 |
| 建物の設えについて | <ul style="list-style-type: none"> 建物は有明海沿岸道路を通ってる人から気づくような視認性の高いものが良い。 陳列棚や内装は、時代に合わせて内装や売るのが変化するのにあわせて組み替えられる陳列台が良い。 |